

当院で実施する研究に対する情報提供のお願い

研究タイトル

動機づけ面接と認知行動療法の技法を取り入れた起立性調節障害・体位性頻脈症候群の治療成績について

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお1人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2020年～2021年に当院小児科において起立性調節障害あるいは体位性頻脈症候群と診断され、その治療に動機づけ面接と認知行動療法の技法を組み合わせた介入方法による治療を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

当院小児科を受診した起立性調節障害あるいは体位性頻脈症候群と診断され、動機づけ面接に認知行動療法の技法を組み合わせた介入方法による治療を受けた患者さんの転帰を検討します。この検討は、介入方法が限られる起立性調節障害あるいは体位性頻脈症候群の患者さんにとって有用であると考えています。

検討項目としては、立ちくらみ、頭痛などの身体症状の変化、QTA30（小児心身症評価スケール）を用いた健康度のスコアの変化、登校・通院状況などです。

研究期間は、当院院長承認後～2024年12月までを予定しています。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

- ① 患者背景：年齢、性別、受診契機、家族構成
- ② 経過情報：自覚症状(立ちくらみ、頭痛などの身体症状の変化)、起立試験による起立性調節障害の分類と重症度、QTA30を用いた健康度のスコアの変化、登校・通院状況の変化

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和泉市立総合医療センター

小児科・部長 坂東 賢二（研究責任者）
住所：〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1
連絡先：0725-41-1331

（2022年3月8日作成（第1.0版））